

みなさんにとって、働くとはどのような意味を持つでしょうか。働くことは、自立した生活を維持するための収入を得るだけでなく、働くという行為を通して、個性を発揮して自己を実現したり、人や社会に貢献したりすることができます。将来の仕事について考えることは難しく感じるかもしれませんが、自分たちが暮らす地域の産業の特徴や、身近な仕事との出会いなどを参考に、働くことについて考えてみましょう。また、北海道の将来を担う一員として、社会で生きていくための力や果たす役割についても理解を深めましょう。

## 1 北海道の産業

北海道には、優れた自然環境や多様なエネルギー資源など、他の地域にはみられない、北海道ならではの強みや価値があります。また、豊かな地域資源を活かした産業の創造など、大きな可能性を秘めています。

### 農林水産業

我が国の国土面積の22%を占める本道には、全国の約4分の1の耕地が広がり、日本有数の食料供給地域として、都道府県別でも多くの農産物の生産量が全国1位となっています。

例えば、道南地域では、温暖な気候を生かして、野菜や米を中心に、馬鈴薯などの畑作物を加えた集約的な農業が営まれています。道央地域では、水資源が豊富で夏季に比較的高温となることから、米や野菜などを主体とした農業が行われています。このように、道内では、それぞれの地域で特色のある農業が展開されており、安心・安全で良質な「食の北海道ブランド」は本道の大きな強みとなっています。

また、北海道は、太平洋、日本海、オホーツク海の3つの海に囲まれ、豊かな水産資源にも恵まれています。

平成25年の海面漁業・養殖業の生産は、128万トン(全国生産の27.1%)、2,984億円(全国生産の22.0%)で、量・額ともに、都道府県別で全国1位となっています。特に、主要魚種であるホタテガイ、スケトウダラ、ホッケ、サケ、サンマ、コンブは、道産の占める割合が非常に高く、都道府県別で1位の生産となっています。水産加工業でも、出荷額は6,470億円(全国の21.4%)と、広大な漁場を背景に、漁業や水産加工業が基幹産業となっています。

さらに、北海道は土地面積の71%が森林に覆われ、全国の森林面積に占める割合は22%と、我が国を代表する豊かな森林を有する地

域です。これらの森林は、豊かな水資源を守る重要な役割を担っているほか、住宅資材や紙の原料など、私たちの生活に欠かすことのできない木材を供給しています。

### 新エネルギー産業

北海道には、太陽光や風力・地熱など、全国トップクラスの資源量を誇る地域特性を生かした多様なエネルギーがあります。現在の主要なエネルギー源である石油・石炭などの化石燃料は限りある資源ですが、太陽光や風力・地熱、バイオマスなどは、一度利用しても比較的短期間に再生が可能で資源が枯渇しないため、石油などに代わるクリーンなエネルギーとして導入・普及が促進されており、本道は大きな可能性を秘めています。

### 観光産業

北海道には、知床世界自然遺産に代表されるように、豊かな自然環境があり、多様な動植物が生息・生育しています。このような豊かで美しい自然と、多彩な食、特有の歴史・文化は、本道の優れた観光資源となっており、冬の寒さや積雪も、道外の方にとっては大きな魅力となっています。平成26年度の本道の観光入込客数(実人数)は5,377万人、訪日外国人来道者数は154万人といずれも過去最高を更新し、観光地として大きく発展しています。

### ■北海道新幹線の開業

2016年3月26日に北海道新幹線が開業します。

新幹線はとても速いスピードで走るので、北海道新幹線が開業すると、東北や東京に今よりもっと早く着くことができ、新函館北斗から新青森まで約1時間、仙台まで約2時間半、東京まで約4時間で移動することができます。また、2030年度末には、新函館北斗と札幌間が開業予定となっています。

交通アクセスが良くなることで、ビジネスや観光などによる交流人口の拡大が期待され、新幹線でつながる地域との新しい交流が始まります。



北海道新幹線PRキャラクター  
どこでもユキちゃん

## 2 地域を支える役割

私たちは、人や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員など、さまざまな役割を担いながら生きています。これらの役割は、生涯という時間的な流れの中で変化しながら積み重なり、つながっていくものです。そして、このような自分の役割を果たして活動することを通して、私たちは人や社会とかわかるとなり、そのかわり方の違いが自分らしい生き方となっていきます。

多くの人は、人生の中で職業人として長い時間を過ごすことになりませんが、職業や働くことについてどのような考えを持つのか、どのような職業に就き、どのような職業生活を送るのかは、いかに生きるか、どのような人生を送るのかということと深くかかわっています。また、働くということは、職業以外にも家事や学校での活動、ボランティア活動など、幅広い活動が含まれますが、私たちが果たす多様な役割の中で、自分の力を発揮して社会に貢献することと考えることができます。

みなさんは、一人ひとりが、働くことや職業に対する理解を深めるとともに、働くことを通して、地域の中でさまざまな人とつながり、地域を支える一員であることも意識しながら、将来について考えることが大切です。

### ■キャリア教育の取組

北海道岩内高等学校では、2年次に大学生と座談会形式のワークショップを実施しています。

進路先が未定であったり、進路に向けた取組が十分とは言えない生徒が多い中、大学生との自由な話し合いにより、今後の目標を立てたり、将来のイメージを具体的に持つことができるようになり、生徒たちにとってこのワークショップは進路目標の決定とそれに向けた取組への動機付けの機会となっています。

そして、3年次には社会人として地域で活躍する先輩とのワークショップを実施しています。社会で働くこと、働く上での心構えなどについて本音で語り合うことにより、すべての生徒が「将来への期待が持てた」と回答しており、卒業後の自分の姿について現実を見つめながら考える機会となっています。

また、一部の3年生が、夏休み中に5日間程度の長期企業実習を行っています。実習によって、仕事に対する意識やコミュニケーション能力の向上が図られ、社会に出て働くことについて身をもって理解する大変良い機会となっており、接客業を体験した生徒は「最終日になっていちばん積極的にお客様に話しかけることができました」と感想を述べていました。

#### ●大学生とのワークショップ



#### ●長期企業実習



## 理解しよう! 考えてみよう!

- 将来、どのような仕事をしたいのか、どの地域で働きたいのか、自分のこれからの働く姿を思い描き、それを実現するための具体的な方法を考えてみましょう。
- みなさんの周りには、働いている大人がたくさんいます。どのようにして仕事を選んだのか、仕事のやりがいや楽しさ、社会で働くために大切なことなどについて聞いてみましょう。